

## 「交野市環境基本計画」策定における調査（アンケート）のお願い

日頃は、市政運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、交野市では現在、「交野市環境基本計画」の改定を進めております。

この計画は、地球温暖化対策など環境保全に係る国内外の情勢変化に応じて中長期的な本市の環境ビジョンを示す重要なものであることから、改定にあたり、広く市内の事業所の皆様より本市の環境施策に関するご意見をお聞きするため、意識調査を実施致します。

今回、調査の実施にあたって、交野市工業会、交野市商業連合会の会員の皆様に回答のご協力をお願いしております。

なお、本調査結果はすべて統計的に処理し、本調査の目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

交野市長 黒田 実

### ご記入にあたってのお願い

- ご回答は、選択肢の番号に○を、( ) の中に具体的にその内容をご記入ください。直接アンケート用紙に記入してください。
- ご記入が済まれましたら、**令和3年7月20日(火)**までに、同封の返信用封筒に入れ、ご投函ください（切手の貼付けは不要です）。

### 本調査に関するお問い合わせ先

担当部署	交野市役所 環境部 環境衛生課
電話番号	072-892-0121 (内線538)
電子メール	kankyou-eisei@city.katano.osaka.jp

### 本アンケート業務委託先

事業者名	特定非営利活動法人 木野環境 (担当：土井、丸谷)
所在地	〒600-8085 京都市下京区葛籠屋町515-1
電話番号	075-708-8061 FAX 075-708-8062
電子メール	d-minako@kino-eco.or.jp

**問1. 市の環境施策の方向性について貴事業所の意見を教えてください。**

内容	賛成	やや賛成	やや反対	反対
1. 2050年カーボンゼロ社会※を目指すべきである	1	2	3	4
2. カーボンゼロ社会に向けて、市内でも自然エネルギーの普及施策を行う	1	2	3	4
3. 持続可能な社会として、循環型社会を目指すべきである。	1	2	3	4
4. 使い捨てプラスチックの削減や、4R（リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル）、ポイ捨て防止などプラスチックごみゼロ社会を目指すべきである	1	2	3	4
5. 施策として、生物多様性※を重視するべきである	1	2	3	4

**問2. 貴事業所の事業活動が、地域の環境に及ぼしている状況について、どのように考えていますか。**

項目	影響を与えている	ある程度影響を与えている	あまり影響を与えていない	影響を与えていない	わからない
1. 大気汚染物質の排出	1	2	3	4	5
2. 交通量、物流の拡大	1	2	3	4	5
3. ダイオキシン等有害化学物質の発生	1	2	3	4	5
4. 水質汚濁物質の排出	1	2	3	4	5
5. 騒音や振動の発生	1	2	3	4	5
6. 悪臭の発生	1	2	3	4	5
7. 土壌の汚染	1	2	3	4	5
8. 地形や緑地など自然環境への影響	1	2	3	4	5
9. 生きものに与える影響	1	2	3	4	5
10. 産業廃棄物やごみの大量発生	1	2	3	4	5
11. エネルギーの大量使用	1	2	3	4	5
12. 二酸化炭素の大量排出	1	2	3	4	5
13. 看板・建築物等による景観の変化	1	2	3	4	5

**【用語解説】**

**カーボンゼロ社会**

省エネや自然エネルギー（太陽光発電、風力発電）などを利用することで化石燃料の利用を減らし、実質的に大気中の二酸化炭素が増えない社会のこと。菅首相は2050年までにカーボンゼロ社会を目指すことを宣言した。

**生物多様性**

多様な生物が存在していること。

問3. 事業所等が環境改善に取り組むしくみとして、次にあげるものの認知度と取り組みについてお答えください。

項目	認知度		取り組み		
	知っている	知らない	すでに取り組んでいる	今後取り組む予定である	取り組む予定はない
1. 環境マネジメントシステム					
① ISO14001	1	2	1	2	3
② エコアクション21	1	2	1	2	3
③ エコステージ	1	2	1	2	3
④ KES	1	2	1	2	3
⑤ その他のシステム ( )	-	-	1	2	3
2. 環境に関する経営方針の制度	-	-	1	2	3
3. 環境に関する行動計画の策定	-	-	1	2	3
4. SDGsに関連する取組	1	2	1	2	3
5. RE100に向けた取組	1	2	1	2	3

**【用語解説】**

**環境マネジメントシステム**

環境負荷や二酸化炭素など環境を管理する仕組み認証制度などもあり、企業などが認証取得し、環境管理の状況を対外的に証明するなどしている。

**SDGs (エスディージーズ・Sustainable Development Goals)**

国連が2015年に採択した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」のこと。2030年までに達成すべき環境・社会・経済分野の17の目標が書かれている。

**RE100**

自然エネルギーを設置するか、自然エネルギーの発電所から電気を購入し、自然エネルギーだけで電気をまかなうこと。

問4. 以下の項目について貴事業所での取り組みをお答えください。

項目	実行している	ある程度実行している	実行していない		当事業所には該当しない	わからない
			今後取り組む予定	今は予定がない		
1. 排水による水質汚濁の防止	1	2	3	4	5	6
2. 大気汚染、悪臭の防止	1	2	3	4	5	6
3. 騒音、振動の防止	1	2	3	4	5	6
4. 土壌、地下水汚染の防止	1	2	3	4	5	6
5. 物流システム、輸送手段の効率化	1	2	3	4	5	6
6. エコドライブの実施や低公害車の導入	1	2	3	4	5	6
6-2. 電気自動車の導入	1	2	3	4	5	6
7. 雨水利用や水の循環利用	1	2	3	4	5	6
8. 敷地内や周辺の緑化	1	2	3	4	5	6
9. 省エネルギーの実施						
① 照明・事務機器のこまめな節電	1	2	3	4	5	6
② 冷暖房機器の適正使用	1	2	3	4	5	6
③ その他 ( )	1	2	3	4	5	6
10. 省エネルギー型機器への切り替え						
① 照明・事務機器	1	2	3	4	5	6
② 冷暖房機器	1	2	3	4	5	6
③ その他 ( )	1	2	3	4	5	6
11. CO <sub>2</sub> 排出量が少ない電力会社を選択	1	2	3	4	5	6
12. 太陽光発電など、自然エネルギーの導入	1	2	3	4	5	6
13. クールビズ、ウォームビズなどの実施	1	2	3	4	5	6
14. 廃棄物の減量や発生の抑制	1	2	3	4	5	6
15. 廃棄物の適正な処理	1	2	3	4	5	6
16. 脱プラスチックの取組（プラ製品・梱包材の削減など）	1	2	3	4	5	6
17. 地域の環境美化、環境保全活動への参加	1	2	3	4	5	6
18. 環境に関する社内教育	1	2	3	4	5	6
19. 環境会計の導入	1	2	3	4	5	6
20. 環境対応部門や担当者の配置	1	2	3	4	5	6
21. その他 ( )	1	2	3	4	5	6

**問5. 貴事業所が環境問題への取り組みを進めるうえで、課題となっていることはなんですか。**  
**(3つまで○印)**

1. 費用がかかる	2. 人材・人員の不足	3. ノウハウの不足
4. 手間や時間の不足	5. 設備・場所の不足	6. 環境に関する情報の不足
7. 取引先や消費者の理解が得にくい	8. 社員の協力が得にくい	
9. 社員の環境に対する意識が低い	10. 特に課題はない	
11. その他 ( )		

**問6. 貴事業所が環境問題に取り組む理由はなんですか。(3つまで○印)**

1. 事業所としての社会的な責任
2. 法律や条例の基準を守るため
3. 環境問題の重要性を感じているため
4. 事業所周辺の住民や地域との良好な関係を維持するため
5. 環境問題の取り組みが最終的にはコスト削減につながるため
6. 会社や商品のイメージアップになるため
7. 取引先や顧客からの要望、要請があるため
8. 業界や系列会社などで独自の基準があるため
9. 特に取り組みは行っていない
10. その他 ( )

**問7. 貴事業所では、地域に対する環境保全活動についてどのように考えていますか。**  
**(あてはまるものすべてに○印)**

1. 周辺地域の住民または団体と協力して環境保全に貢献したい
2. 市の催しの中で環境に関するイベントなどがあれば参加したい
3. 行政からの働きかけがあれば、可能な範囲で協力したい
4. 参加したいとは思っているがその機会がない
5. 環境保全のための資金提供をしたい
6. すでに実施している (内容: )
7. 今のところ、地域の環境保全活動に協力するつもりはない
8. その他 ( )

**問8. 貴事業所が、今後市民とともに環境保全活動を推進していく場合、どのようなことが実施可能だと考えますか。(3つまで○印)**

1. 学校教育における環境教育への協力（講師派遣や見学受入、資機材・場所の提供など）
2. 地域住民が関心をもち参加できる環境啓発イベントの実施
3. 広報やインターネットなどを利用した環境活動の情報提供やP R
4. 環境保全活動団体の支援、団体間や企業などとのネットワークづくり
5. 環境保全活動に関する講座や講演会などの学習機会の提供
6. 環境保全活動の指導者の育成
7. ボランティア休暇制度などによる従業員の環境保全活動への参加促進
8. 特にできることはない
9. その他（ <span style="float: right;">）</span>

**問9. 行政は環境保全活動をより活発にするためにどのような取り組みを進めるべきだと思いますか。(3つまで○印)**

1. 法や条例による規制、監視の充実
2. 環境に関するさまざまな情報の提供
3. 環境をテーマにしたイベントや学習会などの開催
4. 学校教育における環境教育の充実
5. 環境活動のための資金提供など活動支援
6. 環境保全の取り組みの促進に向けた補助金等の経済的支援
7. 活動の中心となる人材育成
8. 行政が率先した取り組みを行い、市民や事業者に示す
9. 市民・事業者・行政が協働して取り組める仕組みづくり
10. その他（ <span style="float: right;">）</span>

問10. 下記のうち、採算が合えば導入したいと考えているものはありますか。

(あてはまるものをすべてに○印)

1. 太陽光発電（建物の屋根の上）（自家消費を目的とした利用）
2. 太陽光発電（田んぼ・畑の上）（自家消費を目的とした利用）
3. 電気自動車の利用
4. 薪や木材チップ、ペレットを使った熱利用
5. CO <sub>2</sub> 排出量が少ない電力会社への切り替え
6. その他（ ）

問11. 貴事業所の屋根を第三者に貸して太陽光パネルを設置すること（PPAモデル）は可能ですか。

(PPAモデルとは：初期投資・メンテナンス費用は不要、電気代の節約が期待できる、契約期間は長期（15から20年間程度）、契約期間満了後、太陽光パネル設備は無償譲渡されるなどと言われています。)

1. 可能（金額などの条件次第）	2. 不可能（屋根の構造や強度に不明な点があるため）
3. 不可能（メリットが不明で調整や手続きに手間がかかりそうだから）	4. 不可能（改築・引っ越しなど、将来どうなるかわからないから・自己所有でないため）

問12. 貴事業所で実施している環境活動・省エネ・SDGsを意識した取組などがあれば教えてください。

--

問13. 交野市の環境行政についてご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

--

問14. 最後に貴事業所についておたずねします。

(1) 事業所全体の従業員数は何人ですか。常時勤務するアルバイト、パート等も含めてください。

1. 1～5人	2. 6～10人	3. 11～20人
4. 21～50人	5. 51～100人	6. 100人以上

(2) 貴事業所の事業分類を教えてください。

1. 農林業	2. 建設業	3. 製造業
4. 運輸業	5. 金融・保険業	6. 電気・ガス・熱供給・水道
7. 卸売・小売業	8. 飲食店・宿泊サービス業	9. その他サービス業

(3) 差し支えなければ以下もご記入ください。(公表はいたしません)

事業所名		
部署・担当者名	部署：	お名前：
電話番号		